

スタッフコラム

実は先日、ファイナンシャル・プランナーの試験を受けて参りました！ファイナンシャル・プランナー（略してFP）とは…お客様の将来の夢や目標を実現していくために、その方の現在の生活状況や経済状況に合わせた資金計画を立て、経済的な側面からお客様をサポートしていく専門家のことです。

お客様のライフイベントなどを考慮した収支のバランスを見る長期的な視点と、金融、税制、保険、不動産、教育制度、年金制度、相続などの知識から家計を考える幅広い視野が必要になります。お客様のご希望を伺い、経済状況に沿って、無駄のないプランを提案していく…、葬儀の打ち合わせにも通じる考え方です。

私が受けたのは「FP技能検定3級」という国家検定になります。（FPの資格試験にはいくつか種類があります）2級、1級と上がるにつれて、より専門的、実践的な技能が試されるのですが、今回の3級はあくまでも基礎的な知識をわかる試験内容でした。…が、それだけでも難しく…、日常生活では使わないであろう横文字の用語「TTS」「ポートフォリオ」、四文字熟語にしかみえない「損益通算」「超過累進税率」等、普段耳慣れない用語や計算式を覚えるのは相当なプレッシャーでした。

試験の結果はこの記事を書いている現在まだ発表されておりません。結果はどうあれ、学んだ知識を生かしてお客様を全力でサポートして参ります。



伊藤沙由貴

あとがき

毎朝会館の周りをスタッフで清掃しているのですが、この時期私たちを悩ませるのが秋の風物詩こと「落ち葉」です。焼き芋！！とテンションがあるが分には良いのですが掃いても掃いた後から舞い落ちる落ち葉に少々うんざり。舞い落ちる姿は秋を感じられてロマンティックではあるのですが…。

必死で落ち葉を掃ききり、きれいになった地面を眺め、何に対してか分からぬのですが勝った気持ちになるのは秋だからなのでしょうか…。



出口秀美

お問い合わせ
資料請求

フリーコール
0120-44-5880
365日24時間対応しております。
【通話無料】携帯電話でもつながります。

お急ぎの方は
電話にて
対応いたします。無料事前相談実施中!!

葬儀の現場から

先日社内での司会試験がありました。この記事がでているということは…無事合格しました！！合格しなければ恥ずかしくて書けないなと思っていましたので、ようやくこの記事を書くことができました。

今回受けるのは初級ランク！といえども、今まで司会業務に携わったことがなかった私。今年の6月からの毎月一回研修に参加し、日々練習を重ねてきました。苦労したことと言えば、一番に『なまり』です。西条生まれの西条育ちの私は気付かないうちに『なまり』が強い言葉使いが身についていたようです。intonationは難しいものです。

そしてサ行の苦手な私、「おすすみください」「させていただきます」は本当に言いにくい言葉で、何回もかんてしましました。

そして早口。普段しゃべっている時も弱冠早口などころがありました。練習の際に録音をして聞くと早く終わらしたいのかと思う程の早口に聞こえ、普段意識をしていない私は、本当に聞きづらい話し方をしているのだと改めて気付きました。

何回も練習をし、いよいよ本番です。練習を重ねてきたのであとはそれを披露するだけ…と自分に言い聞かせていましたが自分の順番に近づくにつれ緊張も高まります。

社内の試験とはいえドリーマーの層々たる面々の前の試験なので緊張はマックスです。その緊張のなか迎えた本番。やはり司会試験中はずっと手は小刻みに震え、人生の内にこんなに震え続けて良いのかと思うぐらいの手の震えでした。それでも、練習の成果は十分に出し切れたと、試験は満足した出来栄えでした。

今回この試験を受けるにあたり、同僚の厳しい教えに深く感謝しつつ、次回に試験を受けることがあればまた頑張りたいと思います。この先、どこかで私がマイクを握ること（今のところはまだまだ素人ですので予定はないです（笑））があれば精いっぱい気持ちを込めた司会をしたいと思います。



岩佐いほり

すよっと ひといき

アユタヤ観光のもう一つの目玉は、象乗り体験です。歴史公園内的一角にその施設はあります。動物園で、柵の向こう側にいる象は遠目に見たことがあります、こんなに間近で見るのは初めてでした。

ずっと気になっていたのは、象にどうやって乗るのか？という素朴な疑問でした。…私が勝手に想像していましたのは、乗馬の様に象にまたがるスタイルでしたが、実際には象の背中に、椅子のような物を取り付け、祭りの櫓（やぐら）の様な建物から乗り移るというものでした。2人が取り付けられた椅子に並んで座り、前に象使いが乗り、公園内を歩いてくれます。椅子に座ると、象の背中に足を置くようになりますが、この象の背中…なんと！毛が生えているのです！それも、ものすごくしっかりした毛が…皆さんご存知かもしれません、私にとっては大きな驚きでした。

象はゆっくりゆっくり、公園内を一巡し、自動車が走る公道を渡ります。ここで、私のピクリ第二弾！なんと、信号もないのに象は素知らぬ顔で渡り始めたのです。走ってきた自動車の方が、止まって象が渡るのを待ってくれています。自動車が待つ目の前を、悠々と渡る象の上からの眺めは、ちょっとした王族気分でした。

象ってすごい！やはり象は、この国の象徴であることを改めて感じた出来事でした。30分程で最初に乗った建物まで帰って来て、象乗り体験は終了です。

3日間のタイ観光は、他にも夜のディナーカルーズやバンコク観光等…あっという間に終わり私達は帰国の途につきました。旅行といつても、観光やアクティビティを重視する方、日々の疲れを癒しに行く方、目的は様々だと思います。ですが、旅には必ず必要なアレ…わかりますか？

次回は…旅の醍醐味（少なくとも私はそう思っています）アレについてお話をしたいと思います。



宮田昌美

風の丘墓地公園たより

10月20日午前10時より、「第2回風を感じて朗誦会＆音楽会」を開催します。今治市民弦楽合奏団の調べに、大切な人への想いや伝えたい事を朗読します。

今回は日本のみならず、ウィーン、ザルツブルクなどで演奏され、広島、長崎の原爆慰靈の演奏、東日本大震災慰靈の演奏もされている「まかな畠音さん＆ナルさん」によるライバーの演奏も予定しています。

ライバーとは千と千尋の神隠しの歌の、あの楽器です。見えないもの、想い、風を感じてください。入り口には、風車のお花畑が皆様のお越しをお待ちしております。

風の丘墓地公園 木村



ドリーマーの
ご葬儀費用

◆ドリーマーではご葬儀前に必ず全てのお見送りをお客様に提示していきます。
◆ご予算に合わない場合◆価格で想定外の費用が発生する事はございません。



楠内祐子